

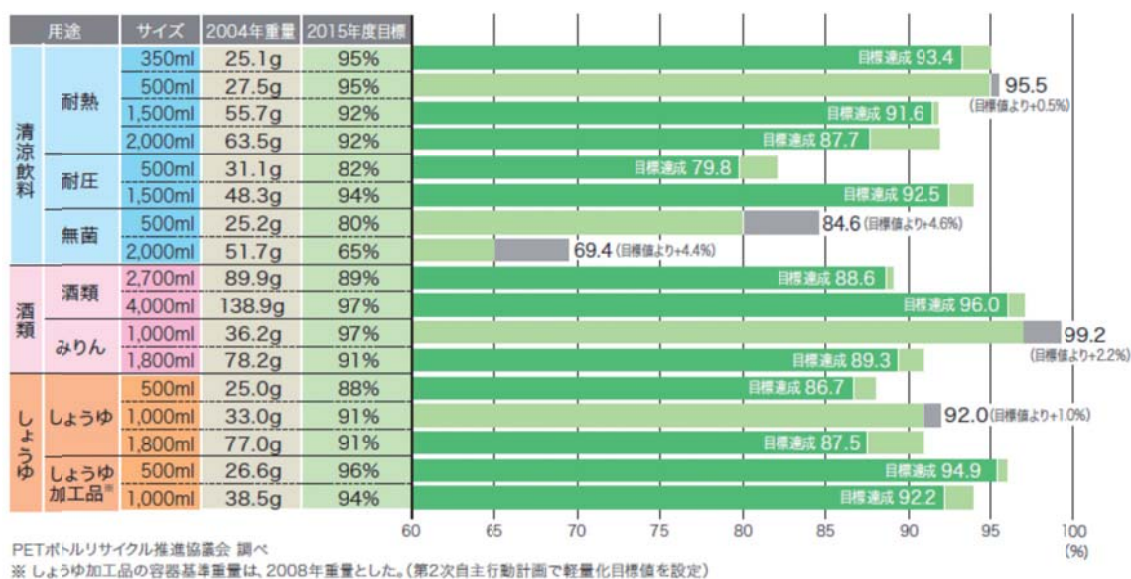
2. PET ボトルリサイクル推進協議会

リデュースへの取り組み成果：2014 年度軽量化 15.6%

2014 年度の PET ボトル軽量化は、全体では、削減効果量で 103 千トン、軽量化率 15.6% を達成いたしました。



また、主要 17 品種ごとに目標値を設定した中で、12 種で昨年度比軽量化が進み、また 12 種で修正後の 2015 年度軽量化目標を達成しました。(清涼飲料の耐熱 350ml・1,500ml・2,000ml、耐圧 500ml・1,500ml、酒類 2,700ml・4,000ml、酒類のみりん 1,800ml、しょうゆ 500ml・1,800ml、しょうゆ加工品 500ml・1,000ml)



サイズ・用途別 PET ボトル軽量化目標と実績 (2014 年度)

●軽量化の事例

PET ボトルは、容器としての需要の広がりにもない、成形技術・充填技術の進展などにより、近年目覚ましい軽量化が実施されています。



●環境負荷増大の抑制について

下図に、清涼飲料用 PET ボトルの出荷本数と、その原油採掘からボトル製造・供給に至る環境負荷の指標としての CO₂ 排出量を経年で示しました。

PET ボトルは、需要の伸びにもない出荷本数を増加させてきましたが、3R 推進のための自主行動計画を定めて取り組みを開始した 2004 年度以降は、出荷本数の増大に比べ CO₂ 排出量の増大が抑制されているといえます（下表）。

これは、ボトルの軽量化を始め、省資源・省エネルギーの取り組みの効果が表れたものと考えられます。

表 2014 年度と基準年度（2004 年度）との負荷比較

		2004年度	2014年度	2014/2004比
PETボトル出荷本数	億本	148	203	1.38倍
環境負荷 (CO ₂ 排出量)	千トン-CO ₂	1,683	1,671	0.99倍

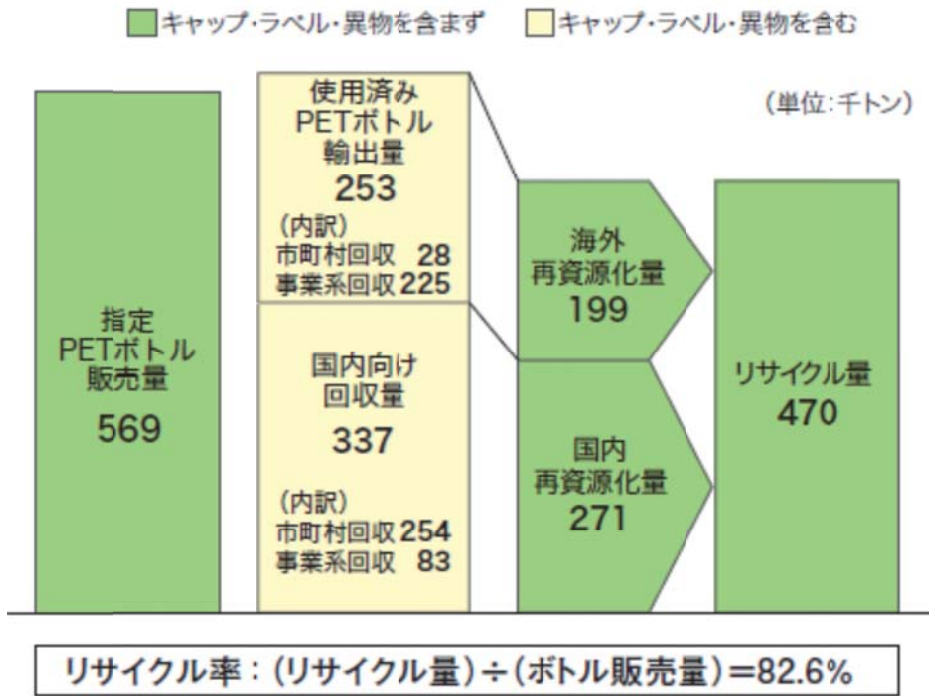


図 清涼飲料用 PET ボトルの出荷本数と、その環境負荷 (CO₂ 排出量) の推移

リサイクルへの取り組み：2014年度リサイクル率 82.6%

2014年度のリサイクル率の「分母」となる指定PETボトル販売量(総重量)は569千トンで、前年度比1.6%の減少となりました。国内の生産本数は1.2%の伸びでしたが、一層の軽量化が進んだために、3年連続でボトルの総重量は減少しました。

一方、リサイクル率の「分子」となるリサイクル量は国内資源化量271千トン、海外資源化率199千トンの合計470千トンでした。

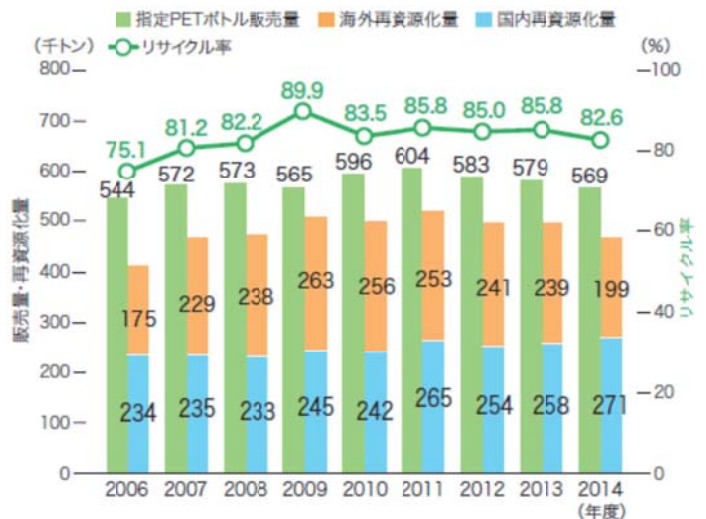


●回収・リサイクルに関する推進協議会調査の強化

回収量調査にあたって、市町村回収については、環境省発表データを使用するとともに、使用済みPETボトルの回収、再商品化を行う事業者へのアンケート調査から、国内リサイクル向けの回収量を集計しています。また、PETくず輸出事業者へのアンケート調査から、海外へのPETボトル由来の輸出量を推計しています(アンケート調査は推進協議会が第三者調査機関へ委託し実施)。

把握できていない使用済みPETボトルの取り扱い事業者が存在し、毎年継続的に調査ヒヤリングを強化していますが、特に事業系回収量調査のアンケート回答率が、まだ十分に高いとはいえ、引き続き補足向上、精度アップのための活動を続けていきます。

図に示したようにリサイクル率は



82.6%で、対前年度 3.2 ポイントの減少となり、過去3年連続で目標を達成してきましたが、今年度は達成するができませんでした。

国内での用途別 PET リサイクル材使用量を調査

PET ボトルが、国内で具体的に何にどれ位の量がリサイクルされているのかという疑問に答えるべく、PET ボトル、シート、繊維、成形品といった用途別にさらに具体的な製品カテゴリーに分けて調査を行っています。

2014 年度調査では、シート製品が 90.1 千トン、繊維製品が 88.0 千トン、成形品・その他が 13.4 千トンでした。

PET ボトルでは 33.6 千トンで昨年度と比べ減少しましたが、今後の増加が期待されます。

表3. 2014年度具体的製品例と使用量(調査結果)

製品例	2013 使用量	2014		
		使用量	構成比	
PETボトル(ボトルtoボトルによる指定PETボトル)	40.3	33.6	14.9%	
シート	食品用トレイ(卵パック、青果物トレイなど)	63.2	66.4	40.0%
	プリスターパック(日用品などプリスター包装用)	11.2	9.7	
	食品用中仕切り(カップ麺トレイ、中仕切りなど)	3.4	3.4	
	その他(工業用トレイ、文具・事務用品など)	4.1	10.6	
		88.7	90.1	
繊維	自動車・鉄道関連(天井材や床材など内装材、吸音材)	34.7	33.2	39.1%
	インテリア・寝装具(カーペット類、カーテン、布団など)	17.5	21.7	
	衣類(ユニフォーム、スポーツウェアなど)	18.1	16.1	
	土木・建築資材(遮水・防草・吸音シートなど)	9.8	6.9	
	一般資材(テント、のぼり、防球ネットなど)	3.2	5.0	
	家庭用品(水切り袋、ワイパーなど)	6.0	3.4	
	身の回り品(エプロン、帽子、ネクタイ、作業手袋など)	1.1	0.0	
	その他(糸、不織布など)	2.6	1.6	
	93.1	88.0		
成形品	土木・建築資材(排水管、排水橋、建築用材など)	1.9	1.1	2.3%
	一般資材(結束バンド、回収ボックス、搬送ケースなど)	0.5	0.7	
	その他(文房具、事務用品、園芸用品、ごみ袋、衣料関連など)	5.8	3.4	
	8.3	5.2		
他	0.2	8.2	3.7%	
合計	230.6	225.2	100%	

広報活動の推進～啓発ツールの提供

●年次報告書の発行

2001 年以來、毎年発刊しており、前年度の 3R (リデュース、リユース、リサイクル) について 3R 推進自主行動計画にそって業界をあげて真摯に取り組んでいる状況や、その成果を多くの皆さまに知っていただくことを目的としています。2015 年 11 月 25 日に、記者説明会を開催しております。



●PET ボトル再利用品カタログ

PET ボトルは、繊維製品、文房具、化粧品ケース、自動車用カーペットマット、ラミネート包材、特殊合成紙等に広く使用されています。これらを「PET ボトル再利用カタログ」にまとめ、紹介しています。

●広報誌「RING」

最新の3R 活動情報を紹介するために、広報誌「RING」を発行しています。2014 年度 Vol.33 では、特集記事で神戸大学大学院経済学研究科教授の石川雅紀氏と「PET ボトルリサイクルの現状と課題」についての対談を紹介しております。



「PET ボトル再利用品カタログ」2015 年度版 vol.14



「RING」Vol.33 (6月発行)

●PET ボトル 3R 改善事例集Ⅱの作成

会員団体構成各企業のためまぬ努力を広く社会の皆様へお知らせするため、推進協議会では環境配慮設計の実施として軽量化を中心とした成果を 2010 年に「3R 改善事例集」としてまとめました。2014 年度に 2010 年度版以降直近までの事例について「3R 改善事例集Ⅱ」として 53 件を掲載し、発行しました。

